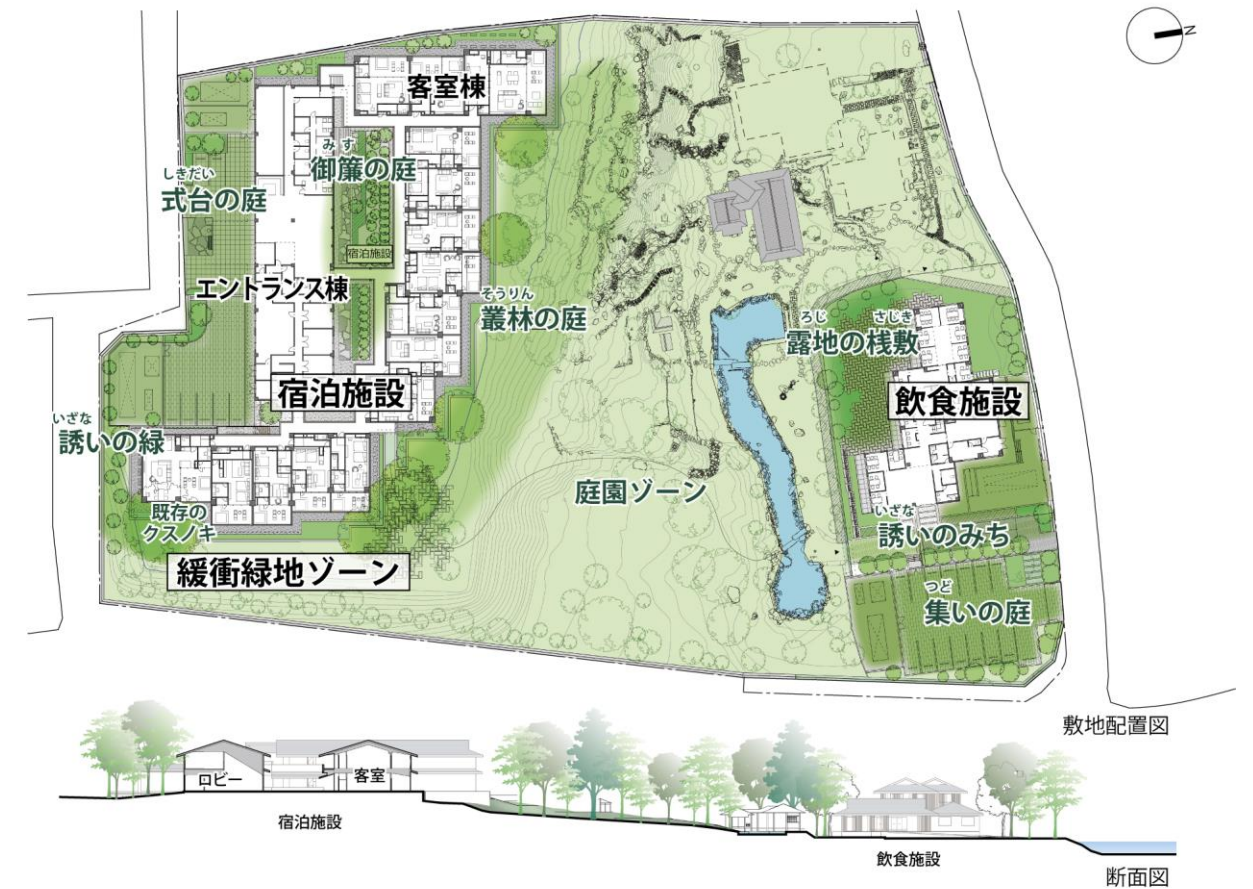


※ 当提案内容は募集要項に基づいたものであり、事業実施については協議の上、変更となる可能性があります。

提案概要書



鳥瞰図（北東からのぞむ）



敷地配置図

断面図

計画地全体をひとつの庭と見立てた、奈良のこの地ならではの「庭屋一如」

既存樹・庭園遺構と調和する上質な宿泊施設と、奈良県産食材を活かした和食を提供する飲食施設が、奈良公園に新たな魅力を生み出します



外観透視図（宿泊施設）



外観透視図（飲食施設）



内観透視図（宿泊施設）



内観透視図（飲食施設）

建築家・隈研吾とランドスケープアーキテクト・宮城俊作による「庭屋一如」

計画地は、中世から続く寺院遺構の歴史を活かして庭と茶室が作られ、大正期の文化人が交流する場でした。その根底には、庭と建築を一体とみなし、自然を敬い人為を尽くして、来訪者と心を通わす「庭屋一如」の精神があり、本事業ではその精神を現代に再現します。

今回新たに設える上質な宿泊施設と飲食施設は建築家・隈研吾が設計。吉野杉をふんだんに使い、奈良の和や伝統に培われたデザインを取り入れた現代数寄屋を生み出します。建築と「庭屋一如」を実現する新たな庭はランドスケープアーキテクト・宮城俊作が設計。奈良公園の本質的価値とされる「自然と人工の融合の妙」を反映し、この計画地ならではの野趣と洗練を兼ね備えた庭を設計します。

きめ細やかなサービスを提供する上質な宿泊施設

平均客室面積約80㎡のゆとりある全室温泉露天風呂付きの客室30室程度を用意します。食事は飲食施設を中心に提供し、宿泊者は夕食・朝食時に庭園ゾーンを通り、庭園遺構を深く感じる宿泊体験をします。運営は、日本有数の観光地で上質な宿泊施設の確かな運営実績がある運営会社が担います。宿泊者おひとりおひとりに合わせたバトラーによるきめ細やかなサービスを提供し、リピーターを増やして行きます。

奈良県産食材を活かした和食を提供、新たな交流とにぎわいを生む飲食施設

全席から奈良公園に広がる四季折々の景色を堪能できる個室形式の客席全30卓・130席程度を用意します。来訪者に対し、宿泊者向けと同じ懐石や薬膳、奈良公園散策の楽しさを彩るお弁当などを提供します。一部のエリアを可動間仕切りとし、会合やパーティーでの利用にも応えます。新たにふたつの庭「露地の棧敷」「集いの庭」を設え、奈良公園の催事と連携したイベントの場としてにぎわいを生み出します。

※全てのバースは植栽の一部を半透明にしています